

教育プロジェクト②

世界最大規模の教材ウェブコンテストである ThinkQuest (シンククエスト) の活動現況

ネット利用促進とウェブ教材の充実

ThinkQuestは1996年に米国で始まった世界最大規模の教材ウェブページの国際コンテストである。2～3名の中・高校生が1つのチームを組み、半年から1年かけてウェブ作品（英語）を制作し、それを競う。作品は世界中（オンライン上）で学習教材として活用されることが条件である。「科学・数学」「芸術・文学」「社会科学」「スポーツ・保健」「学際」の5部門から自由に題材を選んで応募できる。制作された作品は教育的価値、品質、インタラクティブ性、メンバー間の協力の度合い、作品の利用のされ方や将来性といった点から審査される。

ThinkQuestの狙いは「インターネットスタイルの学習」であり、中高生のインターネット利用の促進と、インターネット上の教育コンテンツの充実を目指す。したがって作品は「教育的価値があり、皆に利用されうる」と判断されれば、ThinkQuestの教材ライブラリー上に公開される。現在、このライブラリーには4000作品が登録され、ひと月におよそ200万のアクセスがある。利用されることによって（掲示板、メール、アンケートなどで情報が提供されたり、改善されたり、意見が交換されたりして）その作品の

内容がより高められることが、ThinkQuestの価値ある特徴の1つといえよう。

世界100万人の参加者を目指して

5回目を迎えたThinkQuest Internet Challenge2000には、世界85か国から6882人（2615作品）が参加した。最優秀賞を勝ち取ったのは「Sighting the First Sense - Seeing is Believing」という「視覚」について学べる作品。日本の生徒が参加したのものとしては、ブルガリア・アメリカの生徒とともに制作した「航海」について学べる作品「Virtual Maritime Academy」が佳作として評価された。

授賞式はスイスのジュネーブにて3月に開催され、計24チームが各賞を受けた。これまでは最優秀賞と各部門3つのステータス（プラチナ賞、金賞、銀賞）を基本に授賞を行ってきたが、今年2月に応募受け付けを開始したThinkQuest Internet Challenge2001では、さらに多くの生徒の参加を促すべく、授賞対象をベスト100チームへと広げている。2005年までに100万人の参加者を見込んでおり、新しいプログラムや仕組みが開発されている。

ThinkQuestのナショナルパートナーは現在63か国あり、自国からの参加者を促

進・支援している。日本のように母国語でウェブサイトを制作するローカルコンテストを実施する国は、現在、オランダ、スウェーデン、シンガポール、韓国、日本の5か国のみであるが、スイス、デンマーク、アルゼンチン、ロシア、ラトビアもローカルコンテストの準備を開始している。こうした各国の言語を通じて、ThinkQuestのコンセプトが大きく広がることが期待されている。

3年目を迎えたThinkQuest@JAPAN

日本語で作るウェブ教材コンテストThinkQuest@JAPANは、1998年の立ち上げから3年目を迎えた。今年度は中・高校生の部に1011人、大学生・社会人の部に269人、総勢1280人が参加、初めて1000人を突破した（資料3-1-26）。「総合的な学習の時間」また新教科「情報」を見据え、選択授業や特別授業の中で、ThinkQuestを導入し始めた学校も少なくない。学校へのインターネット導入とともに、その利用面での試みが意欲的に実施されつつあることを確認できる。大学生・社会人の部においては、ThinkQuestに作品を提出して初めて単位を与えるという講義スタイルも現れ、作品の品質向上にも貢献している。このような学校の授業や講義の中での利用は今後ますます増加すると思われる。

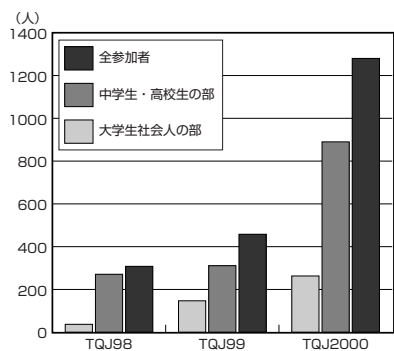
ThinkQuestは生徒・学生自らが主体となって学習を進めていくプログラムである。文部省がうたう「生きる力」を促し、21世紀を生き抜く力強い人材を育てる教育プログラムとして、今後ますます活用されていくものと確信している。

（望月なを子 ThinkQuest日本プログラム事務局/
グローバルコムズ株式会社）

ThinkQuestの教材ライブラリー
www.thinkquest.org/library/
library.thinkquest.org/C001464/

Jump 03 www.thinkquest.gr.jp

資料3-1-26 ThinkQuest@JAPAN参加者数の推移



出所 ThinkQuest日本プログラム事務局の調査より作成

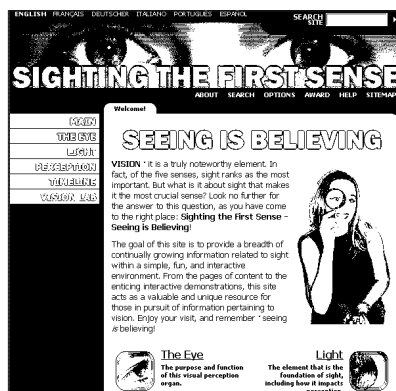


図1 最優秀賞受賞「Sighting the First Sense - Seeing is



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp